

財政状況の公表

昨年の本市の台所は……

市財政の状況は、これを年二回公表することになっていますが、このたび公表いたします本市の台所の状況は、昨年度三ヶ月（昭和五十六年三月三十一日現在）の時点をとらえたものです。

◎総予算額九十五億三千五百万円
昨年度の一般会計の予算現額は、六十八億九百万円でした。

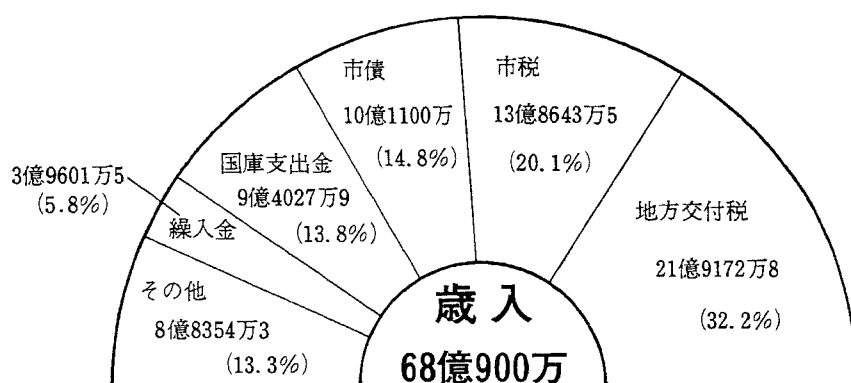
また、都留文科大学・国民健康保険・都留診療所などの特別会計（水道事業会計を除く）の予算現額は、二十七億二千六百万円となり、合わせて九十五億三千五百万円となりました。

昭和五十五年度と比較しますと約七億六千九百万円、八・七%の増です。

一般会計の歳入をみると、（グラフ・歳入参照）最も多いのは地方交付税の二十一億九千七百七十一万八千円、全体の三一・二%を占めています。

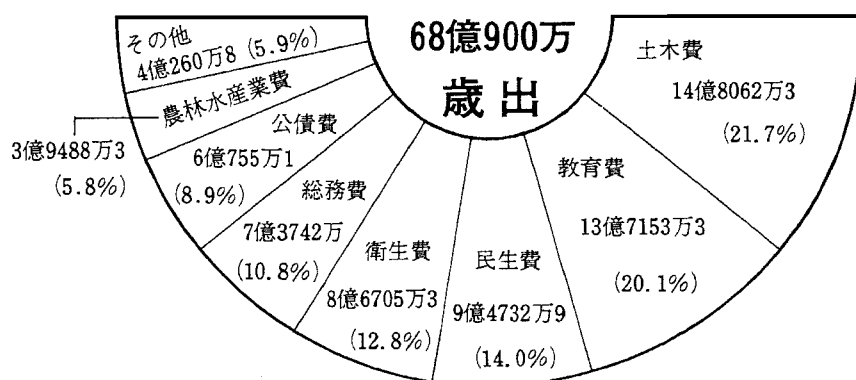
ついで、市税・市債・国庫支出金の順となっています。

一方、歳出についてみると、（歳出参照）土木費が一四億八千六十二万八千円、歳出全体の二一・七%を占めています。



56年度一般会計

(単位千円)



◎こんな建設事業に使われました

ついで、教育費・民生費・衛生費の順になっています。

公共施設の新設、改良その他の資本形成につながる投資的事業を、普通建設事業と呼んでいます。昨年度の普通建設事業の主なものは、

をあげてみますと、次のとおりです。

- ▽病院建設用地確保
- ▽総合運動公園建設
- ▽市民グラウンド改修
- ▽権現原公営住宅建設
- ▽丸鬼団地用地造成
- ▽小野矢花ため池整備
- ▽厚原地区土地改良
- ▽上戸沢朝日線外市道新設改良
- ▽与市堀農道外農道改良
- ▽曾雄水路外

◎市民一人あたりは？

一般会計の歳出予算現額を三月三十一日現在の人口で割ると、二十一万二千三百七十六円となります。これが市民一人当りに使われる額です。

一方、市民が納める税金は一人当り、四万三千二百四十四円となり、支出に対して一六万九千三百三十二円が不足することになります。この差額については、国や県からの支出金、地方交付税、借入金（市債）などで補われます。

また、借入金（市債）の現在高は五十三億五千五百万円余りで、一人あたりで割ると、一六万七千四〇円となり、市財政がかなり借入金に依存していることがうかがえます。

- ▽開地区営農炊雑用水設置
- ▽林道鈴懸線改良
- ▽小集落改良
- ▽禾二小屋内運動場建設
- ▽都留二中夜間照明設置
- ▽市民グラウンド夜間照明設置
- ▽モデル事業農道整備
- ▽都留一中クラブハウス建設
- ▽盛里公民館建設
- ▽小野地区土砂崩壊防止
- ▽耐震性防火水槽上戸沢外設置
- ▽消防ポンプ自動車整備
- ▽盛里農村公園建設
- ▽都留文科大学本部棟建設
- ▽都留文科大学特別教室建設
- ▽上大幡簡易水道拡張
- ▽滝下浄水場施設整備
- ▽桂町簡易水道統合